

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成17年12月8日(2005.12.8)

【公表番号】特表2002-502455(P2002-502455A)

【公表日】平成14年1月22日(2002.1.22)

【出願番号】特願平11-501410

【国際特許分類第7版】

C 0 8 G 18/50

C 0 8 J 9/14

//(C 0 8 G 18/50

C 0 8 G 101:00)

C 0 8 L 75:04

【F I】

C 0 8 G 18/50 F

C 0 8 J 9/14 C F F

C 0 8 G 18/50

C 0 8 G 101:00

C 0 8 L 75:04

【手続補正書】

【提出日】平成17年5月18日(2005.5.18)

【手続補正1】


【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成17年  月18日

特許庁長官殿

1. 事件の表示

平成11年特許願第501410号

2. 補正をする者

氏名(名称) バイエル・アクチエンゲゼルシャフト

3. 代理人

住所

〒540-0001
大阪府大阪市中央区城見1丁目3番7号 IMPビル
青山特許事務所
電話 06-6949-1261 F A X 06-6949-0361

氏名

弁理士 (6214) 青山 葆



4. 補正対象書類名 明細書および請求の範囲

5. 補正対象項目名 明細書および請求の範囲



6. 補正の内容

次の箇所を補正します。

I. 請求の範囲

別紙の通り。

II. 明細書

(1) 第1頁第10行、「強度に」とあるを「強く」と訂正。

(2) 第1頁第11行、「(FCKW)」とあるを「(FCKWまたはCFC)」と訂正。

(3) 第1頁第14行、「含有量のために」とあるを「含有の故に」と訂正。

(4) 第1頁第22行、「この化合物種類の物質」とあるを「この種の化合物」と訂正。

(5) 第1頁第23行、「消耗能力」とあるを「破壊係数」と訂正。

(6) 第2頁第4行、「改変せねば」とあるを「改変しなければ」と訂正。

(7) 第2頁第23～24行、「300～800の40～80重量%の…ポリエーテル」とあるを「300～800のポリエチレンオキシド/プロピレンオキシドポリエーテル40～80重量%」と訂正。

(8) 第2頁第26～28行、「300～800の3～40重量%の…ポリエーテル」とあるを「300～800のポリエチレンオキシド/プロピレンオキシドポリエーテル3～40重量%」と訂正。

(9) 第2頁第29行～第3頁第2行、「200～800の3～40重量%の…ポリエーテル」とあるを「200～800のポリエチレンオキシド/プロピレンオキシドポリエーテル3～40重量%」と訂正。

(10) 第2頁第3～4行、「500～1500の3～40重量%の…ポリエーテル」とあるを「500～1500の線状ポリエチレンオキシド/プロピレンオキシドポリエーテル3～40重量%」と訂正。

(11) 第2頁第16行、「得られる」とあるを「得る」と訂正。

(12) 第5頁下から第1行、「芳香族」とあるを「有機」と訂正。

(13) 第6頁第7行、「のもの、」とあるを「で示されるポリイソシアネート、」と訂正。

(14) 第6頁第25行、「カルシウムを同時使用」とあるを「カルシウムをも使用」と訂正。

(15) 第6頁第26行、「同時」とあるを削除。

(16) 第7頁第17～18行、「発泡につき使用」とあるを「発泡剤充填に使用」と訂正。

(17) 第7頁第23行、「発泡のための」とあるを「発泡剤充填のための」と訂正。

(18) 第8頁第13行、「ゴールドシュミットAG社製、エッセンの市販の」とあるを「ゴールドシュミットAG社（エッセン）製市販」と訂正。

(19) 第8頁第15行、「エアドエルヘミー社製、ドルマーゲン」とあるを「エアドエルヘミー社（ドルマーゲン）製」と訂正。

以上

(別紙)

請 求 の 範 囲

1. ポリオールおよびポリイソシアネート、並びに発泡剤および必要に応じ発泡剤からのポリウレタン硬質フォームの製造方法において、ポリウレタン硬質フォームは

- A. (1) 蔗糖もしくはソルビトールに基づく分子量300～800のポリエチレンオキシド／プロピレンオキシドポリエーテル40～80重量%と、
- (2) 芳香族モノー、ジーもしくはポリーアミンに基づく分子量300～800のポリエチレンオキシド／プロピレンオキシドポリエーテル3～40重量%と、
- (3) 脂肪族モノー、ジーもしくはポリーアミンに基づく分子量200～800のポリエチレンオキシド／プロピレンオキシドポリエーテル3～40重量%と、
- (4) 分子量500～1500の線状ポリエチレンオキシド／プロピレンオキシドポリエーテル3～40重量%と、
- (5) 必要に応じさらにイソシアネートに対し反応性の少なくとも2個の水素原子を有する分子量150～12500 g／モルの化合物と、
- (6) 触媒と、
- (7) 水と、
- (8) アルカン、シクロアルカン、フルオロクロル炭化水素、フルオロ炭化水素の群からの発泡剤と、
- (9) 必要に応じ助剤および／または添加物質と
- を含有するポリオール成分を、
- B. 20～48重量%のNCO含有量を有する有機および／または改変有機ポリイソシアネートと

反応させることにより得ることを特徴とするポリウレタン硬質フォームの製造方法。

2. 成分(1)が、70～100重量%の1, 2-プロピレンオキシドおよび0～30重量%のエチレンオキシドに基づく蔗糖出発ポリエーテルであることを特徴とする請求の範囲第1項に記載のポリウレタン硬質フォームの製造方法。
3. 成分(2)が、70～100重量%の1, 2-プロピレンオキシドおよび0～30重量%のエチレンオキシドに基づく オートルイレンジアミン出発ポリエーテルであることを特徴とする請求の範囲第1項に記載のポリウレタン硬質フォームの製造方法。
4. 成分(3)が、50～100重量%の1, 2-プロピレンオキシドおよび0～50重量%のエチレンオキシドに基づくエチレンジアミン出発ポリエーテルであることを特徴とする請求の範囲第1項に記載のポリウレタン硬質フォームの製造方法。
5. 成分(1)が、70～100重量%の1, 2-プロピレンオキシドおよび0～30重量%のエチレンオキシドに基づくソルビトール出発ポリエーテルであることを特徴とする請求の範囲第1項に記載のポリウレタン硬質フォームの製造方法。
6. 成分(4)が、70～100重量%の1, 2-プロピレンオキシドおよび0～30重量%のエチレンオキシドに基づくプロピレングリコール出発ポリエーテルであることを特徴とする請求の範囲第1項に記載のポリウレタン硬質フォームの製造方法。
7. 水含有量がポリオール成分Aの100重量部当たり0.5～7.0重量部であることを特徴とする請求の範囲第1～6項のいずれか一項に記載のポリウレタン硬質フォームの製造方法。
8. 発泡剤(8)としてシクロペンタンおよび/またはシクロヘキサンを使用することを特徴とする請求の範囲第1～7項のいずれか一項に記載のポリウレタン硬質フォームの製造方法。
9. 発泡剤(8)としてn-および/またはi-ペンタンおよび/またはシクロペンタンおよび/またはシクロヘキサンの混合物を使用することを特徴とする請求の範囲第1～7項のいずれか一項に記載のポリウレタン硬質フォームの製造方法。

10. 発泡剤(8)としてシクロペンタンとn-ブタンおよび/またはイソブタンおよび/または2,2-ジメチルブタンとの混合物を使用することを特徴とする請求の範囲第1~7項のいずれか一項に記載のポリウレタン硬質フォームの製造方法。

11. 発泡剤(8)としてn-ペンタンを使用することを特徴とする請求の範囲第1~7項のいずれか一項に記載のポリウレタン硬質フォームの製造方法。

12. 発泡剤(8)として1,1,1-ジクロルフルオロエタン(R141b)または1,1,1,3,3-ペンタンフルオロプロパン(R245fa)を使用することを特徴とする請求の範囲第1~7項のいずれか一項に記載のポリウレタン硬質フォームの製造方法。